

科目名	ITパスポート I・II (講義)				担当者名	篠原 幸子	
学科	診療情報管理科	学年	3年	学期	通年	単位	6単位 (90時間)
実務経験	情報処理技術関係講師 22年間 (社員研修、大学、高校、職業訓練等) 臨床検査技師 9年間			資格等	・Microsoft 認定トレーナー ・情報処理技術者 ・医療情報技師 ・臨床検査技師 等		

《授業内容－意義・ねらい・到達目標－》

- 1.ITの最新技術に関する正しい知識やITに関わるたくさんの法律について学び、活用できるようになる。
- 2.ITを利用した業務改善の方法を知ることができる。
- 3.ITに関する幅広い知識を習得することができる。
- 4.経済産業省が認定する情報処理技術者試験の国家資格であるITパスポート試験への合格を目標とする。

《評価方法》

- ・成績評価基準は学則第21条によるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。
- ・成績評価に際し、定期試験の評価のほか、出席日数、授業態度、小テスト等を加味して評価を行う。

《履修上の留意点》

- ・ITパスポートとは、ITに関する基礎知識を問う国家試験です。
- 試験に合格するためには知識のインプットだけでなく、問題演習によるアウトプット(力試し)が非常に重要になります。そのため、毎回小テストを実施します。解き間違えた問題については再学習をするという学習サイクルを身につけること。
- ・授業態度について
 - ①予習復習をすること(内容については授業中に指示をします)
 - ②私語や居眠りをしない
 - ③携帯電話(スマートフォン)はカバンにしまう
- ・理解度が一定の基準に達しない場合は、別途補習を行うことがあります。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
ITパスポート 試験対策テキスト		TAC	
ITパスポート 試験対策問題集		TAC	
ITパスポート 本試験問題集		TAC	

《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	マネジメント系 開発技術	
第2回	マネジメント系 開発技術	
第3回	開発技術 過去問	
第4回	開発技術 過去問	
第5回	マネジメント系 プロジェクトマネジメント	
第6回	マネジメント系 プロジェクトマネジメント	
第7回	プロジェクトマネジメント 過去問	
第8回	プロジェクトマネジメント 過去問	
第9回	マネジメント系 サービスマネジメント	
第10回	マネジメント系 サービスマネジメント	
第11回	サービスマネジメント 過去問	
第12回	サービスマネジメント 過去問	
第13回	マネジメント系 過去問	
第14回	マネジメント系 過去問	
第15回	テクノロジ系 基礎理論	
第16回	テクノロジ系 基礎理論	
第17回	基礎理論 過去問	
第18回	基礎理論 過去問	
第19回	テクノロジ系 コンピュータシステム	
第20回	テクノロジ系 コンピュータシステム	
第21回	コンピュータシステム 過去問	
第22回	コンピュータシステム 過去問	
第23回	テクノロジ系 技術要素	
第24回	テクノロジ系 技術要素	
第25回	技術要素 過去問	
第26回	技術要素 過去問	
第27回	テクノロジ系 過去問	
第28回	テクノロジ系 過去問	
第29回	定期試験	
第30回	定期試験解答・解説	

科目名	がん登録(講義)				担当者名	折岡 健太郎	
学科	診療情報管理学科	学年	3年	学期	前期	単位	2単位(30時間)
実務経験	医事課業務 3年 診療情報管理業務 3年 がん拠点病院関連業務 16年 がんゲノム医療拠点病院業務3年			資格等	修士(医療情報学) 診療情報管理士 医療情報技師 院内がん登録中級実務者認定		

《授業内容－意義・ねらい・到達目標－》

授業で行ったことは、配布された演習問題で復習することが望ましい。
理解できなかった部分は復習を行い、分からないことは質問を行うなどして理解に努めること。
テストの点数や理解度が一定の基準に達しない場合は、別途、追試を行う。

《評価方法》

- ・「成績評価基準は学則第21条によるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。
- ・成績評価に際し、定期試験の評価のほか、出席日数、受講態度、小テスト、レポート提出等を加味して総合的に評価を行う。

《履修上の留意点》

授業で行ったことは配布された演習問題で復習することが望ましい。
理解できなかった部分は復習を行い、分からないことは質問を行うなどして理解に努めること。
テストの点数や理解度が一定の基準に達しない場合は、別途、追試を行う。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
UICC 第8版	日本委員会TNM委員会	金原出版	
国際疾病分類－腫瘍学(NCC監修) 第3.1版 ICD-O	国立がん研究センター	厚生労働統計協会	
国際疾病分類－腫瘍学(NCC監修) 第3.2版 ICD-O	国立がん研究センター		

《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	標準登録様式	
第2回	標準登録様式 標準登録様式演習	
第3回	ICDO-3.2コーディング演習	
第4回	胃病期分類 大腸病期分類	
第5回	胃病期分類 大腸病期分類	
第6回	肺病期分類	
第7回	肺病期分類	
第8回	肝臓病期分類	
第9回	肝臓病期分類	
第10回	乳腺病期分類	
第11回	乳腺病期分類	
第12回	総合演習	
第13回	総合演習	
第14回	テスト	
第15回	テスト解説	
第16回		
第17回		
第18回		
第19回		
第20回		
第21回		
第22回		
第23回		
第24回		
第25回		
第26回		
第27回		
第28回		
第29回		
第30回		

科目名	基礎医学特講(講義)				担当者名	楠田 尚子	
学科	診療情報管理科	学年	3年	学期	通年	単位	6単位(90時間)
実務経験	看護業務等(35年)			資格等	看護師(日本看護協会会員) 重症度・必要度評価研修終了認定者 看護管理研修終了認定者 骨粗鬆症学会員		

《授業内容―意義・ねらい・到達目標―》

【到達目標】診療情報管理士認定試験合格を目指す。

【授業方法】

- ・1章～12章まで診療情報管理士教育問題集・診療情報管理1テキストから演習問題の小テストを中心に授業を行う。
- ・模擬試験結果により、弱点項目を中心にテストを実施。
- ・毎回、章別に小テスト、解答解説を行い、60点以下の場合は課題を指示した期限までに提出すること。
- ・後期の授業では、小テスト60点以下40点以下で別の課題提出。
- ・夏季講座、冬季講座では、重要ポイントを中心に小テスト、解答解説を実施。

《評価方法》

- ・出席状況
 - ・授業態度
 - ・忘れ物
 - ・提出物の期限遵守
 - ・グループワークでの積極性
 - ・確認テスト(小テスト)
 - ・定期試験
- 上記項目を総合的に評価し、単位認定とする。
- ・授業中の私語や忘れ物は減点します。

《履修上の留意点》

- ・授業態度について(予習・復習を行う、私語、居眠りをしない)
 - ・小テストに学籍番号、氏名がない場合は減点対象にします
 - ・配布資料の保管・整理等について(時系列にファイリング、項目ごとに分類する)
 - ・課題やレポート等の提出について(期限の厳守など)
 - ・予習並びに復習の具体的な内容についても記載。
- ※予習⇒次回の単元を目通しし、読めない漢字や不明な語句などがあれば事前に調べておくこと。
復習⇒きちんと理解できなかった部分は復習を行い、その上で分からないことは、質問を行うなどし、理解に努めること。
※補習(後期)成績が テストの点数や理解度が一定の基準に達しない場合は、別途、補習を行うことがある。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療情報管理士テキスト	診療情報管理士教育委員会 武田 隆久	一般社団法人日本病院会	第8版 第3刷(一部改正)
診療情報管理士教育練習問題 基礎医学編・2021年	診療情報管理士教育委員会 武田 隆久	一般社団法人日本病院会	2018年8月1日十二版発行
診療情報管理士Ⅱ	診療情報管理士教育委員会 武田 隆久	一般社団法人日本病院会	2017年5月26日第8版 第2刷

《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	1章 医療概論	
第2回	1章 医療概論	医療用語小テスト SET1.2.主要徴候
第3回	2章 人体構造・機能論	医療用語小テスト SET3.4.主要徴候
第4回	2章 人体構造・機能論	医療用語小テスト SET5.6.主要徴候
第5回	2章 人体構造・機能論	医療用語小テスト SET7.8.主要徴候
第6回	3章 臨床医学総論(外傷学、先天異常等含む)	医療用語小テスト 1章～3章まとめテスト
第7回	3章 臨床医学総論(外傷学、先天異常等含む)	医療用語小テスト SET9.10.主要徴候
第8回	4章 臨床医学各論Ⅰ(感染症及び寄生虫症)	医療用語小テスト SET11.12.主要徴候
第9回	4章 臨床医学各論Ⅰ(感染症及び寄生虫症)	医療用語小テスト SET13.14.主要徴候
第10回	5章 臨床医学各論Ⅱ(新生物)	医療用語小テスト SET15.16.主要徴候
第11回	5章 臨床医学各論Ⅱ(新生物)	医療用語小テスト 4章まとめ
第12回	6章 臨床医学各論Ⅲ(血液・代謝・内分泌)	医療用語小テスト 5章まとめ
第13回	6章 臨床医学各論Ⅲ(血液・代謝・内分泌)	医療用語小テスト 6章まとめ
第14回	前期定期試験	
第15回	解答・解説	
第16回	7章 臨床医学各論Ⅳ(精神・脳神経・感覚器系)	医療用語小テスト SET17.18.主要徴候
第17回	7章 臨床医学各論Ⅳ(精神・脳神経・感覚器系)	医療用語小テスト 7章まとめ
第18回	7章 臨床医学各論Ⅳ(精神・脳神経・感覚器系)	医療用語小テスト 7章まとめ
第19回	8章 臨床医学各論Ⅴ(循環器・呼吸器系)	医療用語小テスト SET19.20.主要徴候
第20回	8章 臨床医学各論Ⅴ(循環器・呼吸器系)	医療用語小テスト SET21.22.主要徴候
第21回	8章 臨床医学各論Ⅴ(循環器・呼吸器系)	医療用語小テスト SET23.、8章まとめ
第22回	9章 臨床医学各論Ⅵ(消化器・泌尿器系)	医療用語小テスト SET24.25.主要徴候
第23回	9章 臨床医学各論Ⅵ(消化器・泌尿器系)	医療用語小テスト SET26.27
第24回	10章 臨床医学各論Ⅶ(周産期系)	医療用語小テスト SET28.9章まとめ
第25回	10章 臨床医学各論Ⅶ(周産期系)	医療用語小テスト SET29.30.主要徴候
第26回	10章 臨床医学各論Ⅶ(周産期系)	医療用語小テスト 10章まとめ
第27回	11章 臨床医学各論Ⅷ(皮膚・筋骨格系)	医療用語小テスト SET31.32.
第28回	11章 臨床医学各論Ⅷ(皮膚・筋骨格系)	医療用語小テスト 11章まとめ
第29回	演習問題	1章～11章
第30回	演習問題・解答・解説	1章～11章

科目名	医療事務コンピュータ（演習）				担当者名	平田 覚	
学科	診療情報管理科	学年	3年	学期	後期	単位	2単位（30時間）
実務経験	病院勤務（急性期（救急含む）～慢性期）：22年 （医事課長、総務部主任、薬剤部、中央材料室等）			資格等	診療情報管理士、DPC、がん登録初級		

《授業内容－意義・ねらい・到達目標－》

急速に進む医療情報システムのIT化の中で、中心的役割を担うのが医療事務コンピュータや電子カルテである。このシステムは、診療録等の診療情報を電子化し、自院の患者サービス、医療の質的向上や効率化、院内における患者情報の共有と情報提供のため、多くの医療機関で電子化が進んでいる。医療に携わる者として、このシステムの操作概要を理解することは、必須なことであるため、主に応用的操作やDPCの演習を行う。

《評価方法》

平常点・定期試験により評価
成績評価基準は学則第21条によるが、再試験の対象は、D評価（59点以下）の者とする。
定期試験・課題 90% 定期試験や課題を総合的に評価する。
平常点 10% 積極的な事業参加及び授業態度、出欠・早退・遅刻により総合的に評価する。

《履修上の留意点》

診察時における医師と患者とのやり取りを元に作成した、カルテ形式問題を医療事務コンピュータや電子カルテシステムを操作し作成する。
義中は分からない部分は必ずその授業中や授業後に聞くこと。
また、理解度が一定の基準に達しない場合は、別途、補習を行うことがある。
授業中の私語や受講態度などには厳しく対応し、理由のない遅刻や欠席は認めない。
授業時数の3分の2以上出席しない者は試験を受験することができない。
また、授業の進捗状況により、内容が前後する場合がある。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療点数早見表		医学通信社	
レセプト作成マニュアル集		医学通信社	
PC用カルテ例題集		ケアアンドコミュニケーション	

《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	前期の振り返り	①
第2回	外来・入院レセプト応用演習	②
第3回	外来・入院レセプト応用演習	③
第4回	外来・入院レセプト応用演習	④
第5回	外来・入院レセプト応用演習	⑤
第6回	外来・入院レセプト応用演習	⑥
第7回	電子カルテ復習	⑦
第8回	電子カルテ応用演習	⑧
第9回	電子カルテ応用演習	⑨
第10回	電子カルテ応用演習	⑩
第11回	電子カルテ応用演習	⑪
第12回	DPC演習	⑫
第13回	DPC演習	⑬
第14回	後期定期試験	⑭
第15回	解答解説	⑮
第16回		
第17回		
第18回		
第19回		
第20回		
第21回		
第22回		
第23回		
第24回		
第25回		
第26回		
第27回		
第28回		
第29回		
第30回		

科目名	医療コミュニケーション（講義）				担当者名	藤本 礼美	
学科	診療情報管理科	学年	3年	学期	通年	単位	4単位（60時間）
実務経験	商社 総務兼支社長秘書 食品会社 会長秘書 大学院 秘書 短大、医療専門学校 非常勤講師			資格等	秘書検定1級、サービス接客検定1級 等 NTTユーザ協会 電話応対コンクール全国大会優秀賞 受賞		

《授業内容－意義・ねらい・到達目標－》

<p>チーム医療の一員として医療現場で活躍できる人材。信頼される職業人として、相手に対する思いやりや心遣いのある態度を心掛け、相手に好感を与えて人間関係を円滑にするために、コミュニケーション能力を高めることを目的とします。医療現場での事例を用いたロールプレイングも行い、実践的な内容を学びます。また、正確で適切なビジネス文書作成の実践的なスキルを身につけることを目的とし、「ビジネス文書検定2級」(6月)合格を目指します。</p>

《評価方法》

<p>成績評価基準は学則第21条によるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。</p> <p>評価については、以下の総合評価とします。</p> <p>①定期試験(筆記) ②受講態度・出席状況 ③確認小テスト・課題提出</p>
--

《履修上の留意点》

<p>①就職活動に役立つ内容も取り入れます。 ②授業には積極的に参加し、演習では、人の話を良く聴き、自分の考えを言葉で伝えることを実践してください。 ③授業の中で分からないことがあれば、そのままにせずに質問してください。</p>
--

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
医療事務職員のためのコミュニケーション・スキル	中村健壽(監修)	西文社	
ビジネス文書検定1・2級 受験ガイド	公益財団法人実務技能検定協会	早稲田教育出版	
ビジネス文書検定1・2級 実問題集	公益財団法人実務技能検定協会	早稲田教育出版	

《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	ビジネス文書3級の復習	
第2回	ビジネス文書(ビジネス文書の種類と特徴)	
第3回	ビジネス文書(文書の基本書式)	
第4回	ビジネス文書(社内文書)	
第5回	ビジネス文書(社外文書)	
第6回	ビジネス文書(社交文書)	
第7回	ビジネス文書作成	
第8回	通信業務(郵便の知識, 押印の知識)	
第9回	文書の取り扱い(「秘」扱い文書等)	
第10回	検定試験対策①	
第11回	検定試験対策②	
第12回	検定試験対策③	
第13回	就職活動に関する文書 定期試験対策	
第14回	前期 定期試験	
第15回	前期 定期試験 解答・解説	
第16回	医療機関におけるコミュニケーション・スキルの重要性	
第17回	第1章 コミュニケーション・スキル	
第18回	第2章 社会人としての基礎力	
第19回	第3章 話す(1)	
第20回	第4章 話す(2)	
第21回	第5章 聞く	
第22回	第6章 読む	
第23回	第7章 書く	
第24回	話し方・傾聴(演習)	
第25回	ビジネス電子メールの作成とマナー	
第26回	電話対応(演習)	
第27回	信頼される職業人とは(グループ演習)	
第28回	総まとめ	
第29回	後期 定期試験	
第30回	後期 定期試験 解答・解説	

科目名	医療管理各論Ⅱ・医療管理各論Ⅲ(講義)				担当者名	寺延 美恵子	
学科	診療情報管理科	学年	3年	学期	後期	単位	2単位(30時間)
実務経験	市教育委員会事務、企業事務、病院長秘書、診療情報管理士、大学、専門学校教員経験(合計46年)			資格等	【資格】診療情報管理士指導者、診療情報管理士、診療録管理士、POS医療認定士 【役職】医療情報管理科長、診療情報管理士学科長等		

《授業内容－意義・ねらい・到達目標－》

社会保険制度としての医療保険・介護保険を理解し、診療報酬制度及び診療報酬請求業務までを学び、出来高請求から、診断群分類(DPC)を活用した包括評価請求まで、診療報酬請求業務全般を疾く通して、診療情報管理の重要性への理解を深める。質の高い安全な医療を提供するためには、医療安全管理と医療の質管理は、極めて重要である。診療情報管理士は、医療の質管理も医療安全と密接に関連することの本質を理解することが求められ、DPC/PDPSやNDBなどの診療報酬請求制度におけるデータ活用は、医療の質や経営の質のみならず病院の将来を決定する計画策定ための重要指標となる。期待される役割は、年々大きくなっているために、さらなる理解と知識を深め、それらの活用能力を身につけることを目指す前年度までの授業での基本的な要項を理解し実際に現場で活動するための最低限の知識を身に付けることを目標としたことを再確認、復習をおこなう。

前半は教育問題3章・4章を中心とした演習問題で、2年生までの学習の理解を確認し、再度解説を行う。後半は5者択一の3章・4章演習問題を中心に解き、解説、教科書に戻り各自不理解を学習する。診療情報管理士認定試験専門科目の12章のうち、3章・4章の2章から出題の基礎的な理解を確かなものにし、出題問題に適切に解答できる知識の理解度を再確認し、本試験での合格点を目標にする。授業は、講義形式および演習形式でおこなう。演習問題を解き、解説、テキストを確認する。

《評価方法》

＜評価内容＞

* 期末試験、確認テスト、課題やレポート提出、出席状況、授業態度を総合的に評価する。

＜期末試験＞

* 筆記試験で、教科書、プリント配布資料すべての持込不可

* 期末試験での成績評価基準は学則第21条によるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。

《履修上の留意点》

・授業前の予習(通読)を望みます。

・講義後におこなう確認テストでの間違った問題、不理解・不明な点は、必ず教科書で確認・復習し正しい内容を理解して確実に覚え、早期に解決しましょう。

・自分で調べた後で、不明な点は忌憚なく、質問しましょう。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 3章4章	一般社団法人日本病院会	日本病院共済会	2020.7 初版
診療情報管理教育練習問題(専門)	一般社団法人日本病院会	日本病院共済会	

《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	第3章 医療管理各論Ⅱ(医療保険・介護保険制度) 確認演習問題	P.127～P.180
第2回	第4章 医療管理各論Ⅲ(医療安全・医療の質管理) 確認演習問題	P.183～P.239
第3回	第3章 医療管理各論Ⅱ(医療保険・介護保険制度) 解説	P.127～P.180
第4回	第4章 医療管理各論Ⅲ(医療安全・医療の質管理) 解説	P.183～P.239
第5回	第3章 医療管理各論Ⅱ(医療保険・介護保険制度) 解説	P.127～P.180
第6回	第4章 医療管理各論Ⅲ(医療安全・医療の質管理) 解説	P.183～P.239
第7回	医療管理各論Ⅱ・Ⅲ 5者択一問題	
第8回	医療管理各論Ⅱ・Ⅲ 5者択一問題	
第9回	医療管理各論Ⅱ・Ⅲ 5者択一問題	
第10回	医療管理各論Ⅱ・Ⅲ 5者択一問題	
第11回	医療管理各論Ⅱ・Ⅲ 5者択一問題	
第12回	医療管理各論Ⅱ・Ⅲ 5者択一問題	
第13回	医療管理各論Ⅱ・Ⅲ 5者択一問題	
第14回	医療管理各論Ⅱ・Ⅲ 5者択一問題	
第15回	後期期末試験	
第16回		
第17回		
第18回		
第19回		
第20回		
第21回		
第22回		
第23回		
第24回		
第25回		
第26回		
第27回		
第28回		
第29回		
第30回		

科目名	医療管理総論・医療管理各論Ⅰ（講義）				担当者名	寺延 美恵子	
学科	診療情報管理科	学年	3年	学期	前期	単位	2単位（30時間）
実務経歴	市教育委員会事務、企業事務、病院長秘書、診療情報管理士、大学、専門学校教員経験（合計45年）			資格等	【資格】診療情報管理士指導者、診療情報管理士、診療録管理士、POS医療認定士 【役職】医療情報管理科長、診療情報管理士学科長等		

《授業内容－意義・ねらい・到達目標－》

医療の成立における社会資源の必要性を理解し、医療の担い手である国家資格を有する専門職とその他の医療関連職種にかかわる人的資源、医療提供施設や設備、機器、薬剤医療資源などの物的資源、医療の経済基盤である医療保険制度を中心とした財的資源および情報資源の具体的な理解が必要である。病院を的確に維持・運営していくうえでの重要な病院の経営管理をはじめとする基礎的な知識を身につける。わが国の医療提供システムの特徴を知り、特徴的なわが国の医療保険制度を理解し、医療の実務に対応するための知識を充実させることが主な目的である。病院を的確に維持、運営していく上で重要な、経営管理が必要であり、病院組織が医療機関としての機能を果たすためには、さまざまな医療の専門職を有効に結びつけるための医療管理を理解する基礎的な知識を身に付けることを目的とした前年度までの授業で得た知識を再確認復習をおこなう。

前半は教育問題1章・2章を中心とした演習問題で2年生までの学習の理解を確認し、再度解説を行う。後半は5者択一の1章・2章の演習問題を中心に解き解説、教科書に戻り各自の不理解を学習する。診療情報管理士認定試験専門科目の12章のうち、1章・2章の出題内容、基礎的な理解を確かなものにし、出題問題に適切に解答できる知識の理解度を再確認しながら、本試験での合格点を目標にする。授業は、講義形式および演習形式でおこなう。演習問題を解き、解説、テキストを確認する。

《評価方法》

＜評価内容＞
* 期末試験、確認テスト、課題やレポート提出、出席状況、授業態度 を総合的に評価する。

＜期末試験＞
* 筆記試験で、教科書、プリント配布資料すべての持込不可
* 期末試験での成績評価基準は学則第21条によるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。

《履修上の留意点》

・授業前の予習(通読)を望みます。
・講義後におこなう確認テストでの間違った問題、不理解・不明な点は、必ず教科書で確認・復習し正しい内容を理解して確実に覚え、早期に解決しましょう。
・自分で調べた後で、不明な点は忌憚なく、質問しましょう。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 1章2章	一般社団法人日本病院会	日本病院共済会	2020.7 初版
診療情報管理教育練習問題(専門)	一般社団法人日本病院会	日本病院共済会	

《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	第1章 医療管理総論 確認演習問題	P.5～P.66
第2回	第2章 医療管理各論Ⅰ（病院管理）確認演習問題	P.69～P.124
第3回	医療管理総論 解説	P.5～P.66
第4回	医療管理各論Ⅰ（病院管理）解説	P.69～P.124
第5回	医療管理総論 解説	
第6回	医療管理各論Ⅰ（病院管理）解説	
第7回	医療管理総論・医療管理各論Ⅰ 5者択一問題	
第8回	医療管理総論・医療管理各論Ⅰ 5者択一問題	
第9回	医療管理総論・医療管理各論Ⅰ 5者択一問題	
第10回	医療管理総論・医療管理各論Ⅰ 5者択一問題	
第11回	医療管理総論・医療管理各論Ⅰ 5者択一問題	
第12回	医療管理総論・医療管理各論Ⅰ 5者択一問題	
第13回	医療管理総論・医療管理各論Ⅰ 5者択一問題	
第14回	医療管理総論・医療管理各論Ⅰ 5者択一問題	
第15回	前期期末試験	
第16回		
第17回		
第18回		
第19回		
第20回		
第21回		
第22回		
第23回		
第24回		
第25回		
第26回		
第27回		
第28回		
第29回		
第30回		

科目名	医療情報技師論(講義)				担当者名	來島 裕太	
学科	診療情報管理科	学年	3年	学期	前期	単位	2単位 (30時間)
実務経験	医療事務経験3年、診療情報管理士業務16年。診療情報管理士業務には、DPC業務、がん登録、医療情報システム導入業務等を含む			資格等	診療情報管理士指導者、上級医療情報技師、がん登録中級認定者、ソフトウェア開発技術者、社会福祉士、情報セキュリティマネジメント試験、診療報酬請求実務能力試験合格		

《授業内容－意義・ねらい・到達目標－》

医学・医療の単元では、医療情報技師のねらいに示されている「医療情報技師の役割と求められる基本能力・姿勢を身につけるために、医学の役割と医療倫理をはじめとして、医療情報システム構築のために必要な医学医療の全体像とその概念、医療プロセス、診療記録など医療記録について理解する。さらに、医療情報を医学医療で活用するために不可欠な医学医療統計、臨床研究の概念について理解するとともに、医療情報分野の進むべき方向について考える能力を身につける。」と共に、診療情報管理士としても必要な医学・医療の知識を深める。

医療情報システムの単元では、同じく医療情報技師のねらいに示されている「医療情報技師の役割と求められる基本能力・姿勢を身につけるために、医療情報の特性、取り扱い上の留意点を把握し、具体的な医療情報システムの内容、企画から稼働までの流れ、稼働後の維持管理の方法について理解する。さらに、医療情報を共有するための標準化について理解するとともに、医療情報分野の進むべき方向について考える能力を身につける。」と共に診療情報管理士としても必要な医療情報システムの知識を深める。

また、医療情報技師試験対策に向けて実施する。

《評価方法》

授業態度、出席状況、小テスト、定期テストによる評価

《履修上の留意点》

基本的には、医療情報技師能力検定試験過去問題・解答集をベースに実施します。
必要に応じてスライドの供覧・プリントの配布をしながら理解を深める。
授業の進行度によっては、練習・問題集の割合を増やすことがあります。
*【情報処理技術編】は別科目となりますので、ご注意ください

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
新版 医学・医療編、 医療情報システム編	日本医療情報学会 医療情報技師育成部会	篠原出版社	
医療情報技師能力検定試験 過去問題・解答集	日本医療情報学会 医療情報技師育成部会	南江堂	

《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	過去問①医学	
第2回	過去問①医学:解説	
第3回	過去問①医療情報システム	
第4回	過去問①医療情報システム:解説	
第5回	過去問②医学	
第6回	過去問②医学:解説	
第7回	過去問②医療情報システム	
第8回	過去問②医療情報システム:解説	
第9回	過去問③医学	
第10回	過去問③医学:解説	
第11回	過去問③医療情報システム	
第12回	過去問③医療情報システム:解説	
第13回	過去問④医学	
第14回	過去問④医学:解説	
第15回	過去問④医療情報システム	
第16回	過去問④医療情報システム:解説	
第17回	過去問⑤医学	
第18回	過去問⑤医学:解説	
第19回	過去問⑤医療情報システム	
第20回	過去問⑤医療情報システム:解説	
第21回	過去問①医学、過去問①医学:解説	
第22回	過去問①医療情報システム、過去問①医療情報システム:解説	
第23回	過去問②医学、過去問①医学:解説	
第24回	過去問②医療情報システム、過去問①医療情報システム:解説	
第25回	過去問③医学、過去問①医学:解説	
第26回	過去問③医療情報システム、過去問①医療情報システム:解説	
第27回	過去問④医学、過去問①医学:解説	
第28回	過去問④医療情報システム、過去問①医療情報システム:解説	
第29回	定期試験	
第30回	定期試験解答・解説	

科目名	医療情報処理技術論(講義)				担当者名	篠原 幸子	
学科	診療情報管理科	学年	3年	学期	前期	単位	2単位 (30時間)
実務経験	情報処理技術関係講師 22年間 (社員研修、大学、高校、職業訓練等) 臨床検査技師 9年間			資格等	・Microsoft 認定トレーナー ・情報処理技術者 ・医療情報技師 ・臨床検査技師 等		

《授業内容－意義・ねらい・到達目標－》

- 1.ハードウェア、ソフトウェアの基礎知識の習得。
- 2.ネットワーク技術の基礎知識の習得。
- 3.情報セキュリティやリスク分析の基礎知識の習得。
- 4.SQLなどの知識を持ち基本的なデータベースの基礎知識の習得。
- 5.情報システムの基礎知識の習得。
- 6.医療情報技師検定試験合格を目標とする。

《評価方法》

- ・成績評価基準は学則第21条によるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。
- ・成績評価に際し、定期試験の評価のほか、出席日数、授業態度、小テスト等を加味して評価を行う。

《履修上の留意点》

- ・試験に合格するためには知識のインプットだけではなく、問題演習によるアウトプット(力試し)が非常に重要になります。そのため、毎回小テストを実施します。解き間違えた問題については再学習をするという学習サイクルを身につけること。
- ・授業態度について
 - ①予習復習をすること(内容については授業中に指示をします)
 - ②私語や居眠りをしない
 - ③携帯電話(スマートフォン)はカバンにしまう
- ・理解度が一定の基準に達しない場合は、別途補習を行うことがあります。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
医療情報技師教科書各論 情報処理技術編		篠原出版	
医療情報技術能力検定過去問題・ 解説集		南江出版新社	

《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	情報システムの開発	
第2回	情報システムの運用と管理	
第3回	情報システムの運用と管理	
第4回	最近の情報技術と情報サービス	
第5回	最近の情報技術と情報サービス	
第6回	過去問 解説	
第7回	過去問 解説	
第8回	過去問 解説	
第9回	過去問 解説	
第10回	過去問 解説	
第11回	過去問 解説	
第12回	過去問 解説	
第13回	過去問 解説	
第14回	定期試験	
第15回	定期試験解答・解説	
第16回		
第17回		
第18回		
第19回		
第20回		
第21回		
第22回		
第23回		
第24回		
第25回		
第26回		
第27回		
第28回		
第29回		
第30回		

科目名	医療統計Ⅰ・Ⅱ（講義）				担当者名	杉野 元亮	
学科	診療情報管理科	学年	3年	学期	通年	単位	4単位（60時間）
実務経験	大学において「統計学」、「データ分析の基礎」、「福祉・医療マネジメント」、「ゲーム理論」等の教育			資格等			

《授業内容－意義・ねらい・到達目標－》

<p>★医療統計の見方・考え方及び分析方法が習得できることを目指します。★</p> <p>診療情報管理士資格取得を確実なものにするために、診療情報管理実力試験(医療統計分野)の例題を提示し、解法を解説していきます。</p>

《評価方法》

<p>★講義中の課題(確認テスト)、定期試験、課題・宿題、授業の状況・受講態度などによって評価します。</p> <p>★「成績評価基準は学則第21条に従います。再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とします。」</p>
--

《履修上の留意点》

<p>★分析方法と分析結果の意味を例題を用いて解説を行いますので電卓を用意しておいて下さい。</p> <p>★授業時間後の重要箇所の理解度を確保するため、復習を行うこと、疑問点は質問し、早期に解決を図るようにして下さい。</p> <p>★授業態度について（私語、居眠りをしないよう心がけてください）</p> <p>★配布資料の保管・整理等について（時系列にファイリング、項目ごとに分類することを心がけてください）</p>
--

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療情報管理(専門課程編)Ⅲ		日本病院共済会	
診療情報管理士のためのやさしい医療統計学		じほう	
診療情報管理士教育問題集		日本病院共済会	

《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	受講にあたっての諸注意(授業のねらい、評価など)、診療情報の収集、整理、分析、判断	講義
第2回	記述統計分野の整理と確認	講義
第3回	推測統計分野の整理と確認	講義
第4回	診療情報管理士認定試験課題①解答・解説	講義・演習
第5回	診療情報管理士認定試験課題②解答・解説	講義・演習
第6回	診療情報管理士認定試験課題③解答・解説	講義・演習
第7回	診療情報管理士認定試験課題④解答・解説	講義・演習
第8回	診療情報管理士認定試験課題⑤解答・解説	講義・演習
第9回	診療情報管理士認定試験課題⑥解答・解説	講義・演習
第10回	診療情報管理士認定試験課題⑦解答・解説	講義・演習
第11回	診療情報管理士認定試験課題⑧解答・解説	講義・演習
第12回	診療情報管理士認定試験課題⑨解答・解説	講義・演習
第13回	診療情報管理士認定試験課題⑩解答・解説	講義・演習
第14回	診療情報管理実力確認試験	講義
第15回	診療情報管理実力確認試験:解答・解説	講義
第16回	データのグラフ表現、病院関連統計の整理と確認、	講義
第17回	主な統計指標と評価指標、コホート研究と症例対照研究	講義
第18回	医療倫理、インフォームド・コンセント、インフォームド・アセント	講義
第19回	診療情報管理士認定試験課題⑪解答・解説	講義・演習
第20回	診療情報管理士認定試験課題⑫解答・解説	講義・演習
第21回	診療情報管理士認定試験課題⑬解答・解説	講義・演習
第22回	診療情報管理士認定試験課題⑭解答・解説	講義・演習
第23回	診療情報管理士認定試験課題⑮解答・解説	講義・演習
第24回	診療情報管理士認定試験課題⑯解答・解説	講義・演習
第25回	診療情報管理士認定試験課題⑰解答・解説	講義・演習
第26回	診療情報管理士認定試験課題⑱解答・解説	講義・演習
第27回	診療情報管理士認定試験課題⑲解答・解説	講義・演習
第28回	診療情報管理士認定試験課題⑳解答・解説	講義・演習
第29回	診療情報管理実力確認試験	講義
第30回	診療情報管理実力確認試験:解答・解説	講義

科目名	教養演習 I (講義)				担当者名	平田 覚	
学科	診療情報管理科	学年	3年	学期	通年	単位	4単位(60時間)
実務経験	病院勤務(急性期(救急含む)~慢性期):22年 (医事課長、総務部主任、薬剤部、中央材料室等)			資格等	国際診療情報管理士		

《授業内容―意義・ねらい・到達目標―》

前期は、就職に向けての業界研究、適性検査、小論文作成などに取組み、就職活動の基本知識等を身につける。後期では、職業志向の把握、自己分析・自己PR、ビジネスマナー、面接スキル、グループディスカッション、履歴書・自己紹介書の作成など、就職活動を優位にすすめるための実践的なスキルを実習により身につける。また、今年度、日本診療情報管理学会学生セッション発表に向けて、これまで学んだ専門分野や実習の内容をまとめ、完成に向けての手法や表現能力を身につけ、学会発表を行う。

《評価方法》

平常点・定期試験により評価
成績評価基準は学則第21条によるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。
授業評価 80% 授業態度、課題提出率や学会レポートの内容を総合的に評価する。
平常点 20% 積極的な授業参加、出欠・早退・遅刻など学生細則の基準により総合的に評価する。

《履修上の留意点》

講義中は分からない部分は必ずその授業中や授業後に聞くこと。
授業中の私語や受講態度などには厳しく対応し、理由のない遅刻や欠席は認めない。
授業時数の3分の2以上出席しない者は授業単位取得不可とする。
また、授業の進捗状況により、内容が前後する場合がある。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
マイロード21		実教出版	
一般常識&SPI2		実教出版	

《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	目標設定、学籍簿・キャリアシート記入、連絡網作成、学則等の補足 等	①
第2回	抄録作成	②
第3回	抄録作成	③
第4回	自己理解(自分の強みと弱みを知る) ⇒ YG検査、自己分析シート作成	④
第5回	就職活動の流れ(求人票の見方や面接までの流れ、必要書類の申し込み方等)	⑤
第6回	就職活動の流れ(履歴書や個別記載事項、小論文等)	⑥
第7回	学会準備(スライド作成)+個人面談	⑦
第8回	学会準備(スライド作成)+個人面談	⑧
第9回	学会準備(スライド作成)+個人面談	⑨
第10回	学会準備(スライド作成)+個人面談	⑩
第11回	学会準備(スライド作成)+個人面談	⑪
第12回	外部就職支援講座	⑫
第13回	学会準備(発表練習)+面接練習	⑬
第14回	学会準備(発表練習)+面接練習	⑭
第15回	学会準備(質問対応)+面接練習	⑮
第16回	プレ発表・学校長発表・評価 9月実施	⑯
第17回	学会発表について後の反省、検討	⑰
第18回	面接について(面接の形式や採用ポイント、面接チェック項目、質問内容 など)	⑱
第19回	面接後の報告書、進路届等の書き方と面接お礼状や内定お礼状の書き方	⑲
第20回	面接指導 + 就職内定へ向けてのブラッシュアップ	⑳
第21回	実習発表会準備	㉑
第22回	実習発表会準備	㉒
第23回	実習発表会準備	㉓
第24回	外部就職支援講座	㉔
第25回	面接練習 個別指導 + ワーク	㉕
第26回	面接練習 個別指導 + ワーク	㉖
第27回	診療情報管理士認定試験対策	㉗
第28回	太宰府合格祈願	㉘
第29回	歯科衛生講義	㉙
第30回	第8回 診療情報管理士模試(特別) 2月	㉚

科目名	教養演習Ⅱ（講義）				担当者名	平田 覚	
学科	診療情報管理科	学年	3年	学期	通年	単位	2単位（30時間）
実務経験	病院勤務（急性期（救急含む）～慢性期）：22年 （医事課長、総務部主任、薬剤部、中央材料室等）			資格等	国際診療情報管理士、DPC、がん登録初級		

《授業内容－意義・ねらい・到達目標－》

<ul style="list-style-type: none"> * 診療情報管理士認定試験対策として、模試試験及び過去模試を行う。 * 試験後の解答は、各講師にフィードバックを行い解説を行う。 * 夏休み、冬休みに特別学習期間を各2日間設ける。 * 年8回の模試試験を行い、最終的に「診療情報管理士認定試験（令和4年2月）」の資格合格を目的とする。

《評価方法》

<p>平常点・定期試験により評価 成績評価基準は学則第21条によるが、再試験の対象は、D評価（59点以下）の者とする。 模擬試験 90% 模擬試験や課題を総合的に評価する。 平常点 10% 積極的な授業参加及び授業態度、出欠・早退・遅刻により総合的に評価する。</p>

《履修上の留意点》

<p>試験で間違えた部分は正文に修正し、復習を必ず行うこと。 正答率の悪い部分については、問題集から課題を出す場合がある。 また、理解度が一定の基準に達しない場合は、別途、補習を行うことがある。 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応し、理由のない遅刻や欠席は認めない。 また、基礎・専門分野の授業の進捗状況により、時間を変更する場合がある。</p>
--

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療情報管理 基礎分野一問一答		(株)エジュカルサポート	
診療情報管理 専門分野一問一答		(株)エジュカルサポート	

《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	第1回 診療情報管理士模試(過去問)	5月
第2回	第1回 診療情報管理士模試(過去問)	5月
第3回	第2回 診療情報管理士模試(過去問)	7月
第4回	第2回 診療情報管理士模試(過去問)	7月
第5回	第3回 診療情報管理士模試(新規)	8月
第6回	第3回 診療情報管理士模試(新規)	8月
第7回	第4回 診療情報管理士模試(新規)	10月
第8回	第4回 診療情報管理士模試(新規)	10月
第9回	第5回 診療情報管理士模試(過去問)	11月
第10回	第5回 診療情報管理士模試(過去問)	11月
第11回	第6回 診療情報管理士模試(新規)	12月
第12回	第6回 診療情報管理士模試(新規)	12月
第13回	第7回 診療情報管理士模試(特別)	1月
第14回	第7回 診療情報管理士模試(特別)	1月
第15回	第8回 診療情報管理士模試(特別)	2月
第16回	第8回 診療情報管理士模試(特別)	2月

科目名	国際統計試験対策講義(講義)				担当者名	寺延 美恵子	
学科	診療情報管理科	学年	3年	学期	後期	単位	2単位(30時間)
実務経験	市教育委員会事務、企業事務、病院長秘書、診療情報管理士、大学、専門学校教員経験(合計46年)			資格等	【資格】診療情報管理士指導者、診療情報管理士、診療録管理士、POS医療認定士 【役職】医療情報管理科長、診療情報管理士学科長等		

《授業内容―意義・ねらい・到達目標―》

1・2年生で学習した 国際疾病分類(ICD-10)各章の疾病分類体系・該当する傷病名、退院時要約の基本ルールの確認と試験対策を目標とする。
2021年2月認定試験問題の傾向および問題集を踏まえて、演習問題を解き、正しい理解を深める。
さらに、ICD-11の大分類の増章およびコード体系の変更に伴い、ICD-10の基本・基礎授業内容を十分に理解しているかの確認、演習問題授業の取り組みを行う。
卒業後の実務での対応・応用可能な基礎力を学習するとともに、認定試験に対応する。

《評価方法》

<評価内容>
* 期末試験、確認テスト、課題やレポート提出、出席状況、授業態度を総合的に評価する。
<期末試験>
筆記試験
* 教科書、プリント配布資料すべての持込不可
* 期末試験での成績評価基準は学則第21条によるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。

《履修上の留意点》

何とかありません。本気になって、学習しましょう！
不明な点は、理解できるまで遠慮なく質問して、理解しましょう。
* 授業中の態度について
睡魔が襲ってきたら、挙手してください。睡魔退治をしましょう。
私語、他科目の宿題や試験学習をしている場合は、授業を欠席とします。
* 補講について
演習問題や理解度が一定の基準に達しない場合は、別途、補習を行うことがあります。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療情報管理教育問題集(専門)	一般社団法人日本病院会	日本病院共済会	

《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	死亡診断書の記載に関するルール・原死因	
第2回	原死因問題と解説	
第3回	第1章感染症疾患・第2章新生物の疾患 の基本	
第4回	第1章感染症疾患・第2章新生物の疾患 各章の問題&退院時要約(解説)	
第5回	第4章内分泌・代謝系疾患・第9章循環器系疾患 の基本	
第6回	第4章内分泌・代謝系疾患・第9章循環器系疾患 各章の問題&退院時要約(解説)	
第7回	第10章呼吸器系疾患・第11章消化器系疾患 の基本	
第8回	第10章呼吸器系疾患・第11章消化器系疾患 各章の問題&退院時要約(解説)	
第9回	第13章筋骨格系疾患・第14章腎・尿路生殖器系疾患 の基本	
第10回	第13章筋骨格系・第14章腎・尿路生殖器系 各章の問題&退院時要約(解説)	
第11回	第15章妊娠・分娩の疾患・第16章周産期の疾患・第18章症状・徴候 の基本	
第12回	第15章妊娠・分娩・第16章周産期・第18章症状・徴候 各章の問題&退院時要約(解説)	
第13回	第19章損傷・第20章外因・第21章健康状態 の基本	
第14回	第19章損傷・第20章外因・第21章健康状態 各章の問題&退院時要約(解説)	
第15回	試験・解説	
第16回		
第17回		
第18回		
第19回		
第20回		
第21回		
第22回		
第23回		
第24回		
第25回		
第26回		
第27回		
第28回		
第29回		
第30回		

科目名	国際統計分類 I・II (講義)				担当者名	堤 康英	
学科	診療情報管理科	学年	3年	学期	通年	単位	4単位(60時間)
実務経歴	日本赤十字社血液事業部 感染症研究(22年間) 医療機関の診療情報管理(21年) 医療福祉専門学校 非常勤講師 国際疾病分類学(18年)			資格等	資格 臨床検査技師 役職 技術部課長資格 診療情報管理士 役職 課長		

《授業内容―意義・ねらい・到達目標―》

我が国の人口動態統計の用いられる仕組みを理解する。
人口動態統計に用いられる国際疾病分類(ICD)について理解を深める。
退院時サマリーの病名をICDで分類できる。
DPCにおける医療資源病名をコーディングできる。
原死因を選択することができる。
2021年におけるICD-11の概要
認定試験対策。

《評価方法》

総合評価は授業への出席、小テスト、期末試験にて行う
再試験の対象はD評価(59点以下)の者とする

《履修上の留意点》

分類の方法と構造を理解する。退院時要約の病名をICDにより分類する。
予習、復習を行う、私語、居眠りをしない。
予習は具体的な例として、読めない語句については事前に調べておく。
復習は理解できない事柄について質問を行う。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
疾病、傷害及び死因の統計分類提要 2013 第1.2.3巻	厚生統計協会		
ICD-10簡易版	日本病院共済会		
診療情報管理Ⅲ(専門) 2020初版	日本病院共済会		
診療情報管理教育練習問題(専門)	日本病院共済会		

《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	我が国の人口動態統計	
第2回	日本赤十字社血液事業部 感染症研究(22年間)	
第3回	ICDの現状	
第4回	ICD構造	
第5回	WHO-FIC 国際疾病分類群ファミリー	
第6回	ICD-O 国際疾病分類腫瘍学	
第7回	ICF 国際機能分類	
第8回	原死因のルール	
第9回	原死因のルール	
第10回	主要病態の選択ルール	
第11回	主要病態の選択ルール	
第12回	DPCとICD	
第13回	DPCとICD	
第14回	期末テスト	
第15回	テスト解説	
第16回	各章の分類体系およびその特徴と留意事項の理解・的確なコーディング	
第17回	各章の分類体系およびその特徴と留意事項の理解・的確なコーディング	
第18回	各章の分類体系およびその特徴と留意事項の理解・的確なコーディング	
第19回	各章の分類体系およびその特徴と留意事項の理解・的確なコーディング	
第20回	各章の分類体系およびその特徴と留意事項の理解・的確なコーディング	
第21回	各章の分類体系およびその特徴と留意事項の理解・的確なコーディング	
第22回	各章の的確なコーディング練習 第1回	
第23回	各章の的確なコーディング練習 第2回	
第24回	各章の的確なコーディング練習 第3回	
第25回	各章の的確なコーディング練習 第4回	
第26回	各章の的確なコーディング練習 第5回	
第27回	模擬試験による確認 第1回	
第28回	模擬試験による確認 第1回	
第29回	定期テスト	
第30回	テスト解説	

科目名	情報処理Ⅱ(講義)				担当者名	篠原 幸子	
学科	診療情報管理科	学年	3年	学期	通年	単位	4単位(60時間)
実務経験	情報処理技術関係講師 22年間 (社員研修、大学、高校、職業訓練等) 臨床検査技師 9年間			資格等	・Microsoft 認定トレーナー ・情報処理技術者 ・医療情報技師 ・臨床検査技師 等		

《授業内容－意義・ねらい・到達目標－》

テーブルの作成、クエリを使ったデータの抽出、データ入力用のフォームの作成、データをレポートとして印刷など、Access の基本的な機能とデータベースの活用法の習得。
Microsoft Office Specialist(MOS) Access 365 & 2019 上級(エキスパート)のベンダ資格への合格を目標とする。

《評価方法》

- ・成績評価基準は学則第21条によるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。
- ・成績評価に際し、定期試験の評価のほか、出席日数、授業態度、小テスト等を加味して評価を行う。

《履修上の留意点》

- ・パソコン操作の習得には繰り返しの練習が必要です。授業終了後は復習をすること。
- ・分からないところは積極的に質問すること。
- ・MOS試験対策に入ったら授業だけでは合格することは難しいので、必ず復習練習をすること。
- ・授業態度について
 - ①予習復習をすること(内容については授業中に指示をします)
 - ②私語や居眠りをしない
 - ③携帯電話(スマートフォン)はカバンにしまう
- ・理解度が一定の基準に達しない場合は、別途補習を行うことがあります。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
よくわかる Microsoft Access 2019 基礎		FOM出版	
よくわかるマスター-MOSAccess 365 & 2019 対策テキスト&問題集		FOM出版	

《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	第1章 Accessの基礎知識	
第2回	第2章 データベースの設計と作成	
第3回	第3章 テーブルによるデータの格納	
第4回	第4章 リレーションシップの作成	
第5回	第4章 リレーションシップの作成	
第6回	第5章 クエリによるデータの加工	
第7回	第5章 クエリによるデータの加工	
第8回	第6章 フォームによるデータの入力	
第9回	第6章 フォームによるデータの入力	
第10回	第7章 クエリによるデータの抽出と集計	
第11回	第7章 クエリによるデータの抽出と集計	
第12回	第8章 レポートによるデータの印刷	
第13回	第8章 レポートによるデータの印刷	
第14回	定期試験	
第15回	定期試験解答・解説	
第16回	出題範囲1 データベースの作成と管理 確認問題	
第17回	出題範囲1 データベースの作成と管理 確認問題	
第18回	出題範囲2 テーブルの作成 確認問題	
第19回	出題範囲2 テーブルの作成 確認問題	
第20回	出題範囲3 クエリの作成 確認問題	
第21回	出題範囲3 クエリの作成 確認問題	
第22回	出題範囲4 フォームの作成 確認問題	
第23回	出題範囲4 フォームの作成 確認問題	
第24回	出題範囲5 レポートの作成 確認問題	
第25回	出題範囲5 レポートの作成 確認問題	
第26回	模擬試験	
第27回	模擬試験	
第28回	模擬試験	
第29回	定期試験	
第30回	定期試験解答・解説	

科目名	診療情報管理管理Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(講義)				担当者名	寺延 美恵子	
学科	診療情報管理科	学年	3年	学期	通年	単位	4単位(60時間)
実務経験	市教育委員会事務、企業事務、病院長秘書、診療情報管理士、大学、専門学校教員経験(合計46年)			資格等	【資格】診療情報管理士指導者、診療情報管理士、診療録管理士、POS医療認定士 【役職】医療情報管理科長、診療情報管理士学科長等		

《授業内容―意義・ねらい・到達目標―》

医療機関において質の高い、良い医療を提供するために、診療情報管理が重要な役割を果たす。診療情報を適切に取り扱い、責任ある診療情報管理を行う能力を身につける。病院の経営管理、医療管理、特に診療情報管理部門業務、安全管理などの理解、病院経営に必要な情報の提供やマネジメントの必要性、診療情報管理に関わる法令や諸規則を含め、診療情報の記載方法が機能的にどのような構成やルールにおける多岐にわたる医療情報管理の概念について、1年次・2年次で学習した内容について、総復習する。診療情報管理業務が拡大するなかで必要な知識を深め、対応力を備える学習の再確認、復習を行う。

前期は10章の①DPC制度と実務、②医師事務作業補助者業務、③がん登録の業務の講義解説を行う。教育問題8章・9章を中心とした演習問題で、2年生までの学習の理解を確認し、再度解説を行い理解を深める。後期は5者択一の8章・9章・10章演習問題を中心に解き、解説、教科書に戻り、各自不理解を学習する。

診療情報管理士認定試験専門科目12章のうち、8章・9章・10章の3章から出題の基礎的な理解を確かなものにし、出題問題に適切に解答できる知識の理解度を再確認し、本試験での合格点を目標にする授業は、講義形式および演習形式でおこなう。

演習問題を解き、解説、テキストを確認する。

《評価方法》

＜評価内容＞

* 期末試験、確認テスト、課題やレポート提出、出席状況、授業態度を総合的に評価する。

＜期末試験＞

* 筆記試験で、教科書、プリント配布資料すべての持込不可

* 期末試験での成績評価基準は学則第21条によるが、再試験の対象は、D評価(59点以下)の者とする。

《履修上の留意点》

・授業前の予習(通読)を望みます。

・講義後におこなう確認テストでの間違った問題、不理解・不明な点は、必ず教科書で確認・復習し正しい内容を理解して確実に覚え、早期に解決しましょう。

・自分で調べた後で、不明な点は忌憚なく、質問しましょう。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 8章9章10章	一般社団法人日本病院会	日本病院共済会	2017.7 第9版
診療情報管理教育練習問題(専門)	一般社団法人日本病院会	日本病院共済会	

《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	第10章 診療情報管理論Ⅲ ①DPC制度と実務	P.127～P.180
第2回	第10章 診療情報管理論Ⅲ ②医師事務作業補助者	P.127～P.180
第3回	第10章 診療情報管理論Ⅲ ③がん登録の業務について ②③確認演習問題	P.127～P.180
第4回	第8章 診療情報管理論Ⅰ 確認演習問題	
第5回	第9章 診療情報管理論Ⅱ 確認演習問題	
第6回	第8章 診療情報管理論Ⅰ 確認演習問題	
第7回	第9章 診療情報管理論Ⅱ 確認演習問題	
第8回	第8章 診療情報管理論Ⅰ 解説	P.423～P.497
第9回	第9章 診療情報管理論Ⅱ 解説	P.501～P.554
第10回	第8章 診療情報管理論Ⅰ 解説	P.423～P.497
第11回	第9章 診療情報管理論Ⅱ 解説	P.501～P.554
第12回	第8章 第9章 第10章 診療情報管理論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 5者択一問題	
第13回	第8章 第9章 第10章 診療情報管理論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 5者択一問題	
第14回	第8章 第9章 第10章 診療情報管理論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 5者択一問題	
第15回	前期期末試験	
第16回	第8章 第9章 第10章 診療情報管理論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 5者択一問題	
第17回	第8章 第9章 第10章 診療情報管理論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 5者択一問題	
第18回	第8章 第9章 第10章 診療情報管理論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 5者択一問題	
第19回	第8章 第9章 第10章 診療情報管理論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 5者択一問題	
第20回	第8章 第9章 第10章 診療情報管理論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 5者択一問題	
第21回	第8章 第9章 第10章 診療情報管理論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 5者択一問題	
第22回	第8章 第9章 第10章 診療情報管理論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 5者択一問題	
第23回	第8章 第9章 第10章 診療情報管理論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 5者択一問題	
第24回	第8章 第9章 第10章 診療情報管理論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 5者択一問題	
第25回	第8章 第9章 第10章 診療情報管理論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 5者択一問題	
第26回	第8章 第9章 第10章 診療情報管理論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 5者択一問題	
第27回	第8章 第9章 第10章 診療情報管理論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 5者択一問題	
第28回	第8章 第9章 第10章 診療情報管理論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 5者択一問題	
第29回	第8章 第9章 第10章 診療情報管理論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 5者択一問題	
第30回	後期期末試験	

科目名	臨床医学(講義)				担当者名	小林 和夫	
学科	診療情報管理科	学年	3年	学期	通年	単位	4単位(60時間)
実務経験	医師(49年)			資格等	医師免許、内科認定医、医学博士、腎臓内科専門医		

《授業内容－意義・ねらい・到達目標－》

目的:

1・2年次に学習した臨床医学の復習を資格試験合格を目指して行う。知識の整理と確実性を合理的・効率的に実施する。

形式:試験形式

- ・原則、各章2コマの基本試験と1コマの復習問題試験の合計3コマからなる。
- ・形式はa～dの4種類。
- ・各問題6～7分の試験時間と10～20分の解説時間からなる。

《評価方法》

合格目標ライン:

- ・基本試験問題試験:50点
- ・復習問題試験:75点

《履修上の留意点》

学生に求める注意事項:

- ・試験形式なので、試験時間中は教科書・参考書等は開かない。
- ・まず氏名・学籍番号を記載し、必ず問題の形式(問い)を読んでから開始する。
- ・正誤選択形式の問題では誤りを選択した場合、自分の考える正答を必ず記入する。
- ・解説時にまず正誤の自己採点をする。誤りについては必ず解説時の正答を自分で答案に記載する。

注意事項:

- ・病休等の公休でないかぎり試験(講義)を欠席しない。自分に対するマイナス(損出)が大きい。
- ・欠席者については当日の試験問題セットを担任(係)から渡すので、受領次第、当日中に授業時と同じ条件で自己実施し、翌日には担任に返却する事。
- ・答案は次週までに本人に担任(係)から返却される。戻された答案は必ず返却当日中にすべてに目を通し復習する事。この復習の際には、誤答については教科書で自己点検をして確実な復習を行う事。
- ・3コマ(2)の各章が終了時に再度、その章のすべての試験問題を再復習して知識を確実なものにする事。

《使用教材》

書籍名	著者・編集者名	出版社名	シリーズ名
診療情報管理 I :基礎・医学編			
*直近のエデュカル・サポートの模試答案を持参すること。常時利用する。			

《授業計画》

	授業内容・課題	備考
第1回	2章 人体構造・機能論 I	
第2回	2章 人体構造・機能論 II	
第3回	2章 人体構造・機能論 III	
第4回	3章 臨床医学総論 I	
第5回	3章 臨床医学総論 II	
第6回	3章 臨床医学総論 III	
第7回	4章 臨床医学各論 I I	
第8回	4章 臨床医学各論 I (感染症) II	
第9回	4章 臨床医学各論 I (感染症) III	
第10回	5章 臨床医学各論 (新生物) II I	
第11回	5章 臨床医学各論 (新生物) II II	
第12回	5章 臨床医学各論 (新生物) II III	
第13回	6章 臨床医学各論 III (血液) I	
第14回	6章 臨床医学各論 III (血液) II	
第15回	6章 臨床医学各論 III (血液) III	
第16回	1章 医療概論 I	
第17回	1章 医療概論 II	
第18回	7章 臨床医学各論 IV (精神) I	
第19回	7章 臨床医学各論 IV (精神) II	
第20回	7章 臨床医学各論 IV (精神) III	
第21回	8章 臨床医学各論 V (循環器) I	
第22回	8章 臨床医学各論 V (循環器) II	
第23回	8章 臨床医学各論 V (循環器) III	
第24回	9章 臨床医学各論 VI (消化器) I	
第25回	9章 臨床医学各論 VI (消化器) II	
第26回	9章 臨床医学各論 VI (消化器) III	
第27回	10章 臨床医学各論 VII (周産期) I	
第28回	10章 臨床医学各論 VII (周産期) II	
第29回	11章 臨床医学各論 VIII (皮膚・筋) I	
第30回	11章 臨床医学各論 VIII (皮膚・筋) II	